



平成 25 年 10 月 25 日  
海 上 保 安 庁

## 「第 14 回未来に残そう青い海・海上保安庁図画コンクール」 海上保安庁長官賞等の決定について

海上保安庁では、海洋環境保全思想普及活動の一環として、公益財団法人 海上保安協会の協力を得て、未来に残そう青い海・海上保安庁図画コンクールを開催しています。

今年で 14 回目を迎える本コンクールでは、全国の小中学生から 30,774 点の作品応募があり、本日、審査会を開催し、各部門の海上保安庁長官賞及び海上保安協会会長賞を決定しましたので、次のとおりお知らせします。

### 1 受賞者

#### (1) 海上保安庁長官賞

小学生低学年の部 松山 佳真(まつやま けいしん)  
鹿児島県 奄美市立 朝日小学校 2 年生

小学生高学年の部 辻川 美羽(つじかわ みう)  
沖縄県 石垣市立 平真小学校 4 年生

中学生の部 親富祖 日向子(おやふそ ひなこ)  
沖縄県 那覇市立 石嶺中学校 2 年生

#### (2) 海上保安協会会長賞

小学生低学年の部 諸留 愛土(もろどめ まなと)  
鹿児島県 指宿市立 今和泉小学校 2 年生

小学生高学年の部 芋高 明里(いもたか あかり)  
鹿児島県 大島郡瀬戸内町立 秋徳小学校 4 年生

中学生の部 大内田 ゆり(おおうちだ ゆり)  
福岡県 福岡市立 城南中学校 2 年生

## 2 受賞作品及び特別審査員のコメント

### (1) 海上保安庁長官賞

#### 小学生 低学年の部



#### 特別審査員のコメント

大きな魚と子どもたちが楽しそうに泳いでいる様子が伝わってきます。魚の赤色と海の青色の対比が素晴らしく、子どもと魚が何の話をしているのでしょうか。「もっと遊ぼうよ」の声が聞こえてくるようです。

#### 特別審査員のコメント

海大好きというコメントが添えられていましたが、描かれた本人と思われる顔の表情が、その気持ちをよく表しています。魚を見る眼差しに、海の生き物に対する愛情を感じさせ、中央に描かれている魚まで楽しそうです。また、絵の具とクレヨンをうまく使い分け、絵の具のにじみを利用して海を表すなどの工夫も素晴らしいです。

#### 小学生 高学年の部



#### 特別審査員のコメント

海に潜った少年の眼が海底の生き物に向けられています。魚たちは丁寧に描かれていて、よく観察されているのがわかります。初めて海に潜った少年の心をドキドキさせる自分の体験を表現しています。

#### 特別審査員のコメント

海の中を表していますが、実際に海にいる生き物をよく表しています。作者が海の生き物のことがとても好きなことが伺えます。海の色にも工夫が施され、斜め上から下に向かって、海の色の変化をつけています。

## 中学生の部



### 特別審査員のコメント

魚体の下から魚を描く視点が新鮮な印象を与えています。海底から見上げたアングルで「海をきれいにしよう」といったメッセージが込められているのを感じます。作者の思いが伝わってくる秀作です。

### 特別審査員のコメント

出品された作品の中でも、メッセージが込められた作品の一つでした。人々が楽しく泳ぐ海の中には、海洋投棄された電気製品が描かれています。また、たった今、捨てられたと思われるカップが現状をよりリアルに表しています。海を美しく保ちたいという願いが感じられます。

## (2) 海上保安協会会長賞

### 小学生 低学年の部



### 特別審査員のコメント

全員で力を合わせて漁を行っています。「せーの」大きな魚が網の中に入って歓声があがっています。そんな一瞬が凝縮された作品です。「美しい海にたくさんの魚が」そんな作者の思いが伝わってきます。

### 特別審査員のコメント

主役は、中央に描かれた魚でしょうか。何と云っても、その存在感ある表し方が素晴らしい作品です。しかし、上部に描かれた子どもたちにも目を向けていただきたい。どの顔も、とても楽しそうな笑顔があふれています。



### 小学生 高学年の部



#### 特別審査員のコメント

海中で海へびを発見しました。慌しく泳ぐ魚たちと人物が生き生きと表現されています。緑を基調とした海の中は透明感があり、大きな人物と小さな魚、海の緑と海へびの赤の対比が素晴らしく、バランスの良い作品に仕上がっています。

#### 特別審査員のコメント

驚くほど、透明感あふれる作品です。青や緑を幾重にも重ねて、作者ならではの雰囲気を生み出しました。豊かな色彩も目を引いた一枚です。

### 中学生の部



#### 特別審査員のコメント

魚が細部まで描かれていて、美しく表現されています。海の中が華やかに表されていて、人物と極彩色の魚たちが一同に集まっていて、独特の世界観を作っています。人物の驚きとうれしさに満ち溢れた表情が上手に表現されています。色使いが美しい秀作です。

#### 特別審査員のコメント

とても美しい絵です。海の生き物一つ一つがとてもよく観察され描かれています。特に、魚を描く向き巧みさは、秀逸と言えます。色使いも作者ならではの明るい海の絵に仕上がりました。

### 3 特別審査員講評

#### <小学生 低学年の部>

##### 特別審査員のコメント

伸び伸びした、小学生らしい作品ばかりです。色のグラデーションを効果的に使ったり、海の生き物を独特の表現で、まるで海の中が遊園地のメリーゴーランドの様な楽しい世界として表現されています。人物の表情も豊かで、笑い声が聞こえてきそうです。色彩の使い方も美しく、小学生の視点で、自分達と「海は身近なんだよ」の思いを感じることができました。

##### 特別審査員のコメント

今年度も例年に劣らず、力作が集まった。発達段階を考えると、技術的に高すぎる傾向もあるが、それでも随所に、子どもならではの表現が見られ、楽しく審査をさせていただいた。今回、集められた小学校低学年の部の特徴としては、“うに”の登場である。テレビドラマの影響と思われるが、高学年、中学生ではあまり見られなかった。低学年の児童は、流行に敏感であることが作品の傾向からも伺える。作品には、海の生物の他、児童本人と思われる“人間”も登場しているが、どの表情もとても楽しそうで、子どもたちにとって“海”は、とても楽しい場所としてイメージが定着しているのだろう。楽しい“海”から楽しい“絵”を見る者の心を和ませる図画コンクールである。

#### <小学生 高学年の部>

##### 特別審査員のコメント

高学年になると、感じたことを自由に表現する段階から、美しい海の良さを人に伝えようとする内容が増えてきます。海をイメージで捉えた作品や、海の色を強調した作品・細部にまでこだわって仕上げられた作品等、表現方法も幅が広く、子どもたちの豊かな感性に触れることができました。

##### 特別審査員のコメント

高学年になると、“海”のイメージが一気に広がりを見せ始める。したがって、表される対象も、海に関わる様々な場面が登場する。楽しい海に留まらず、海で働く人や船、また、海の楽しみ方も多様になっている。低学年では、海の中の場面が多く見られたが、高学年になると海を見る視点も広がりを見せている。表現方法にも工夫が見られ、筆づかいかや色づかいか、その子らしさを垣間見ることができる。

#### <中学生の部>

##### 特別審査員のコメント

非常にレベルの高い作品が集まっていました。魚が生き活きと表現されている作品が多く、水の中の様子を的確に捉えていて、海の生き物とのふれあいを通して、海を美しく保っていかうとする意図が見えます。表現方法も細部にわたっていねいに描かれており、色を塗り重ねていくことで、作品に深みを与えています。構図の視点も、船の上から見たり、海底から水面を見上げたり、工夫の跡が見られます。人物の表情もとても豊かで、心に残る作品ばかりでした。

##### 特別審査員のコメント

中学生になると、一気に表現技術が高まり、絵画作品としての高いレベルには毎回驚かされる。ただ、昨年が、人と海のつながりを意識した作品が多く見られたのに対し、今回は、美しい海というテーマに則った作品傾向が多く見られた。その中でも、美しい海を守ろうというメッセージが込められた作品や、港の風景など、海に対する思い入れの広がりも見る事ができた。

(特別審査員：東京都葛飾区立大道中学校 校長 殿村 靖廣 氏)

(特別審査員：東京都江戸川区立平井西小学校 主幹教諭 大道 博敏 氏)

#### 4 表彰式について

各賞表彰式については、受賞者と調整のうえ、最寄の管区海上保安本部又は海上保安部署等において実施する予定です。

詳細については、最寄の管区海上保安本部にお問い合わせください。

#### 5 展示について

成田国際空港株式会社の御協力を得て、平成25年11月1日(金)から11日(月)までの間、選考作品全99点の展示を行います。

展示場所：成田国際空港第1旅客ターミナル中央ビル5階  
NAAアートギャラリー